

Improving quality of life

地域連携情報誌

vol.44
2023年9月

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます



理事(兼) 副院長(兼) 診療部 部長(兼) がん集学的治療センター
センター長(兼) 外科/消化器外科
主任科部長(兼) 遺伝子診療部 部長
(兼) 緩和ケアセンター センター長

かね だ く に ひ こ
金田邦彦

平素より地域の医療関係者の皆様方には、大変お世話になっております。

新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行したとはいえ未だに散発的な流行を認めており、当院のような医療機関においては入院や手術においてしばしば影響を受けているのが現状です。今しばらくはこのような状況が続くと思われます。

さて今回の「きらり」ではがん治療をサポートする当院の体制について特集を組みました。がんの治療に関しては、従来からの手術療法、放射線療法、薬物(化学)療法に加えさらにそれらを組み合わせて治療を行う集学的治療が行われ治療成績の向上をはかっています。最近ではがんと診断された早い段階から緩和医療を提供する流れができてきました。当院でも「緩和ケアセンター」を立ち上げてがんと診断された早期から患者さんの不安を取り除くために積極的に関与する体制をとっております。また「がん相談支援室」が、がん患者さんやそのご家族の精神的な不安や心配を取り除き、さらに働き盛りの人ががんになった場合の就労支援に関しても窓口となって支援を行っております。一方、近年の遺伝子診断の飛躍的な進歩に伴い種々の疾患を遺伝子レベルで解析し治療につなげるゲノム医療が行われるようになってきました。当院の「遺伝子診療部」は、いわゆる遺伝性疾患とがんゲノム医療の両面に対応すべく体制を整えております。

日本人の死亡原因の第1位は依然として悪性新生物ではありますが、効果的な治療法や新しい薬などが開発され不治の病でなくなりつつあります。当院のがん治療に対する取り組みを積極的に利用していただくことで当医療圏域におけるがんの治療成績の向上につながればと考えております。



緩和ケアセンター

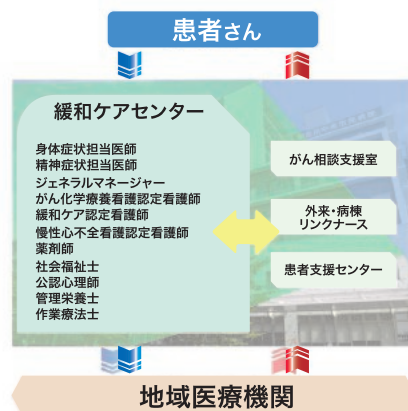
センター概要

当院では、生命を脅かす疾患に関連する問題に直面している全ての患者さんご家族に対して、診断時から適切な緩和ケアを切れ目なく提供できるよう、『緩和ケアセンター』を設置しています。

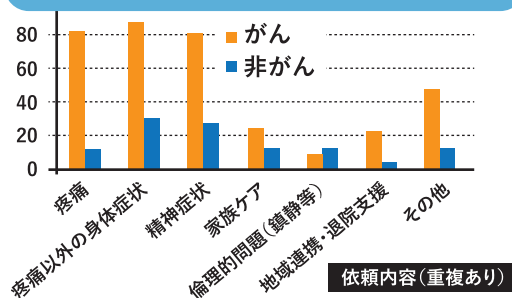
主な取り組み

○緩和ケアチーム

入院中の患者さん・ご家族のつらさや気かりに対して、多職種のチームメンバーが主治医団と連携してサポートを行っています。



2022年度 緩和ケアチーム介入実績(介入件数219件)



○緩和ケア外来

緩和ケア外来では、がんなどによる病気に伴うつらさを和らげるお手伝いをします。通院している診療科と並行して受診していただくことができます。他院・他施設の方もご相談いただけます。

【診療日】 火曜午前・木曜午後(要予約)

【対象】 がん患者さんご家族
非がん(心不全、呼吸不全、肝不全、腎不全、神経難病など)
患者さんご家族

【診療内容】 身体の症状(痛み、吐き気、息苦しさ、倦怠感、食欲不振など)を和らげるお手伝い、気持ちのつらさや不安、気かりのサポート

【特徴】 ・診療科の医師と相談し、薬剤の処方も可能です。
・必要に応じて他の診療科へお繋ぎする場合があります。
(例:不眠や精神面のサポートのため精神神経科へ紹介等)
・「緩和ケアって何?」と聞きたい場合でも受診は可能です。

【受診方法】 通院している診療科の主治医へ緩和ケア外来受診についてまずご相談ください。その後予約をお取りします。



○薬剤師面談

外来通院中で、医療用麻薬を使用している患者さんに対して、お薬が適切に使用できているか、お薬の調整が必要かなど、薬剤師がお薬に対する不安や気かりへのサポートをしています。

○医療者向けセミナーの開催

緩和ケアセミナーは年に1回行っており、次回は2024年2月の開催予定です。詳細は病院ホームページに掲載します。

医療機関の方へ→勉強会・セミナー→緩和ケアセミナーをご覧ください。

※「緩和ケアセンター」へのQRコードリンク先をご案内いたします。



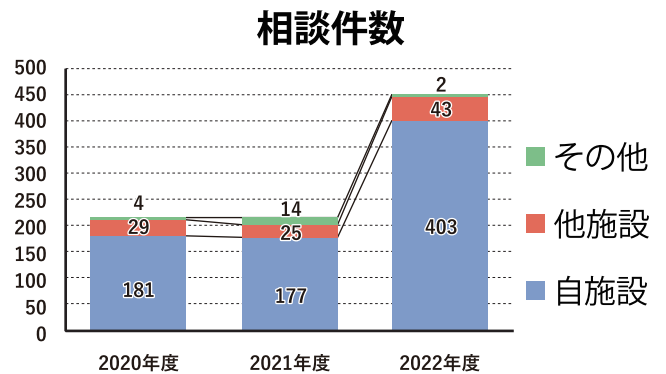


当院は国指定のがん診療連携拠点病院であり、がん相談支援室を設置しています。がん相談支援室は、当院にかかりつけのがん患者さん・ご家族に限らず、地域住民の方、医療従事者の方などががんに関わる全ての人々が原則無料で、必要に応じて匿名で相談できる場所として位置づけられています。相談者の方が孤立することなく、抱えている困りごとに対して次に進む一歩を踏み出せるように支援しております。

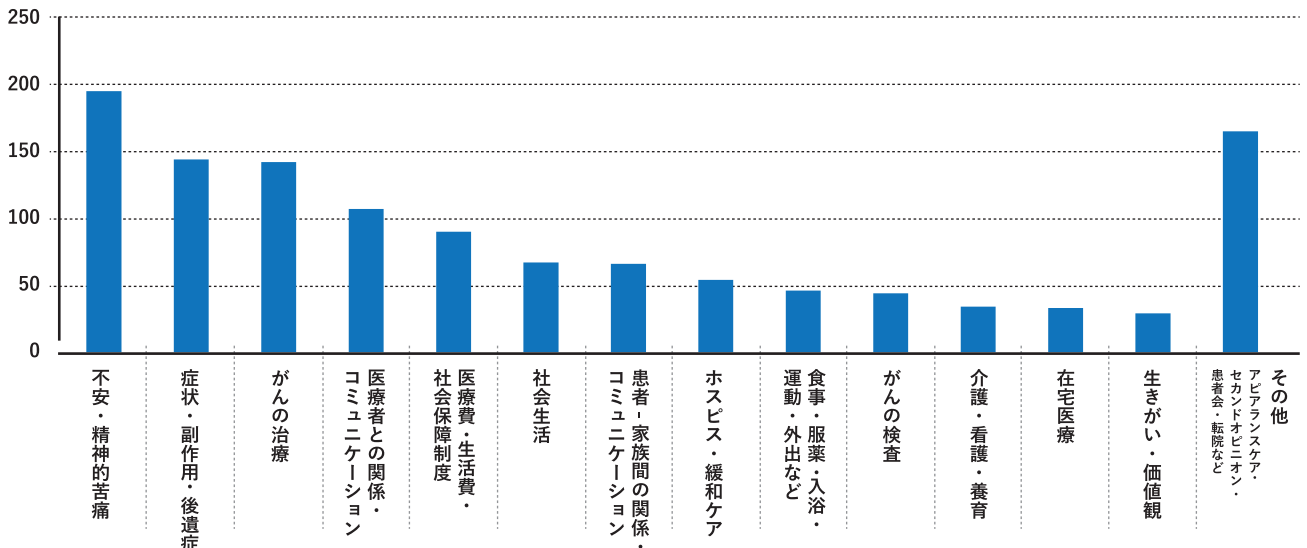
2022年度には国立がん研究センターの認定を受け、認定がん専門相談員2名が従事しております。相談員は、相談者の方の困りごとについて一緒に考え、信頼できる情報提供を行うことで、相談者のエンパワメントにつながられるよう日々取り組んでおります。がんに関する不

安や悩みをお持ちの方に、気軽にご利用いただける開いた場所でありたいと思っておりますので、ぜひ、ご案内いただけますようよろしくお願いいたします。

2022年度相談件数内訳(自施設・他施設)



2022年度 相談件数448件 相談内容延べ件数1216件



取り組み

治療の進歩により生存率は上昇し、長期間にわたる治療や、症状をコントロールしながらんと長く付き合うことを体験されている患者さんも多くなりました。がん相談支援室では、がんに罹患しても「その人らしく生きていく」ことを支援していきたいと考えています。ぜひ、対象の方がいらっしゃいましたらご案内ください。

①社会保険労務士による治療と仕事の両立支援無料相談会

兵庫県社会保険労務士会と連携し、月1回無料相談会を開き、「がんと診断されたけれど仕事を続けたい」「治療と仕事を両立できるか不安」「育児や介護をしながら仕事を続けたい」など、治療と仕事の両立に関する専門的な相談に対応いただいています。



②外見ケア

月1回無料相談会を開催し、がん治療によって生じる脱毛や爪へのダメージに対するケアなどについてご案内しています。相談会では医療用ウィッグのご試着もできるようにしています。また相談会以外でも、外見ケアに関して随時がん相談支援室でご相談いただけます。

③がんサロン「笑てん会」

同じ体験をした仲間がお互いに支え合い、癒やされる場として、当院では月1回、がんサロン「笑てん会」を開催しています。「笑てん会」という名称は「がんになっても自分らしく笑って生きよう」という思いが込められています。実際、参加された方からは、「同じような悩みがあるんだと安心したり、勇気をもらった」などの感想をいただいています。



2023年度 がんサロン「笑てん会」予定

毎月第3木曜日
14:00～15:00

第1部

がんについての
勉強会

第2部

患者さん同士での
交流会

：オンライン開催

日程	勉強会テーマ	講師
第1回	4月20日 脱毛するといわれたら	認定がん専門相談員
第2回	5月18日 食べられないときの食事の工夫	管理栄養士
第3回	6月15日 痛みどめのあれこれ	緩和薬物療法認定薬剤師
第4回	7月20日 緩和ケアってどんなケア?	緩和ケア認定看護師
第5回	8月17日 日頃のお口のケアを確認してみよう	歯科衛生士
第6回	9月21日 生活の中での運動(仮)	理学療法士
第7回	10月19日 治療中のお肌や爪のお手入れ(仮)	がん科学療法看護認定看護師
第8回	11月16日 かかりつけ医って大事	在宅医療支援室看護師
第9回	12月21日 院外薬局を活用しよう!(仮)	がん薬物療法認定薬剤師
第10回	2024年 1月18日 リラクゼーション法について(仮)	精神看護専門看護師
第11回	2月15日 生活に役立つ制度(仮)	社会福祉士
第12回	3月21日 進歩する放射線治療! ～体にやさしいピンポイント照射	がん放射線療法看護認定看護師 放射腫瘍科医師

がんサロン
ホームページ



地図



ご利用について

対象：がんの患者さん、ご家族など地域住民の方、医療従事者の方(当院かかりつけでなくてもご利用いただけます)

相談方法：対面もしくは電話相談

受付方法：電話、もしくは直接1階患者相談窓口にお越しください。予約なしでの相談も可能ですが、状況によっては日を改めていただく場合があります。お電話で予約をとっていただくと確実です。

受付時間：平日8時45分～17時00分

連絡先：079-451-8645 (直通)

相談料：無料



診療部の概要

このページに目を通していただき、ありがとうございます。遺伝子診療部は各診療科と協力し、難病や遺伝性腫瘍などの遺伝学的診断や遺伝カウンセリングを実施しています。保険診療で実施できる遺伝学的検査は増えており、院内の需要も高まりつつあります。遺伝学的診断は他の症状の出現を予測できることや患者さんだけでなくご家族への影響もあることから、診断に際して心理的負担を感じられる方もいらっしゃいます。遺伝カウンセリングでは、心配や不安が解消できるよう、患者さん・ご家族のお気持ちを丁寧にお伺いしながら、諸々の問題について一緒に方針を考えています。今年度から新たに非医師の遺伝専門職である認定遺伝カウンセラー[®]が着任し、診療体制・患者さんのサポートを強化しております。日常会話でよくあるような、「うちはがん家系だから私もがんになるかも?」といった疑問にも対応できますので、お気軽にお問合せいただければと思います。

今後の展望など

遺伝子診療部では遺伝学的検査の需要の高まりに合わせて、スタッフのリテラシー向上や検査項目の増加に努めています。現在は特に、がん遺伝子パネル検査や周産期・小児領域に力を入れています。がん遺伝子パネル検査は、主治医・看護師・臨床検査技師・遺伝子診療部が協力して実施する必要があり、遺伝子診療部が中心となってがんゲノム医療コーディネーターの育成や診療体制を構築しています。今年度中にがんゲノム医療連携病院の認定を目指しています。周産期・小児領域では、母体血を用いた21・18・13トリソミーに関する出生前診断(NIPT)および知的・

発達障がい児の原因検索を目的としたマイクロアレイ染色体検査を開始します。NIPTは日本医学会の出生前検査認証制度等運営委員会の施設認定を申請中です。承認され次第、当院で分娩を希望する妊婦を対象に実施していく予定です。マイクロアレイ染色体検査は従来の染色体検査(G分染法)より診断率の高い検査です。本検査をご希望の場合には小児科にご相談ください。今後は早期診断のメリットのある疾患について、患者さんだけでなく、症状の無いご家族の診断も実施していきたいと考えております。引き続きどうぞよろしくお願い致します。



スタッフ紹介



遺伝子診療部部長

金田 邦彦

4月から新しいメンバーが加わり、パワーアップしました。遺伝性疾患に関して東播磨医療圏域の中核を担う存在を目指します。



遺伝子診療部副部長

岡村 篤夫

30kgの減量に成功しました。生まれ変わった肉体で、東播磨のがんゲノム医療を支えます!!



遺伝子診療部副部長

西山 敦史

普段は小児科医として診療していますが、遺伝子診療部では成人疾患も対応させていただきます。



遺伝子診療部 認定遺伝カウンセラー

青木 智彩子

患者さん・ご家族の状況や感情を丁寧にお伺いするよう努めています。遺伝について何でもお問い合わせください。

連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

かわしま内科クリニック

診療科：内科／循環器内科／呼吸器内科

加古郡播磨町で2016年10月より内科、循環器内科、呼吸器内科を中心に診療を行っています。私は26年間の病院勤務医時代に、循環器、呼吸器、腎臓病（人工透析を含む）、糖尿病を中心として広く内科領域の第一線の診療に取り組んできました。この経験を病診連携に生かしています。当院では看護師が患者様の病歴をきめ細やかに聴取し、必要に応じて迅速の血液検査や超音波、レントゲン、心電図、肺機能検査等を行って、よりの確な早期診断、早期治療や生活習慣病の療養指導ができるよう努力しています。超音波検査については、2名の超音波検査士が心臓、腹部、頸動脈、下肢の動静脈、甲状腺等のエコーを行っています。肺機能検査は肺拡散能まで含めて簡便に検査可能で、呼気一酸化窒素測定とともに、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、長く続く咳等の呼吸器診療を担っています。また上記専門分野のみならず内科全般にわたって、日々新鮮な目で地域医療を担っていきたくと考えています。



院長 河島 哲也 先生



所在地：加古郡播磨町北本荘一丁目14-14
駐車場台数：16台

TEL.079-436-2660

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	-
午後 4:00~7:00	○	○	○	-	○	-	-

※休診日:木曜午後、土曜午後、日祝

登録医のご案内

当院では、地域の医療機関の皆様と共同して、より良い医療を提供していくために『登録医制度』を実施しております。現在は350名を超える地域の先生方に登録して頂いております。

医療連携をさらに充実させ、地域住民の要望に応じていきたくと考えておりますので、ご登録でない先生方におかれましては、ご検討いただけましたら幸いです。なお、当院ホームページにも登録医一覧を掲載させて頂いております。

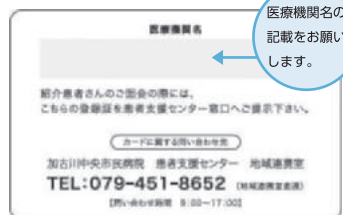
登録医の先生方には、

- ①開放病床のご利用・開放病床入院患者の手術、検査の立会・当院の診療録等医学資料の閲覧が可能となります。
- ②当院が主催する学術講演会、カンファレンスなどへ自由に参加でき、当院所有の図書の閲覧、複写も可能となります。
- ③インターネット予約をご利用いただけます。

患者面会のご案内

当院への来院時の流れ（ご紹介患者の面会）

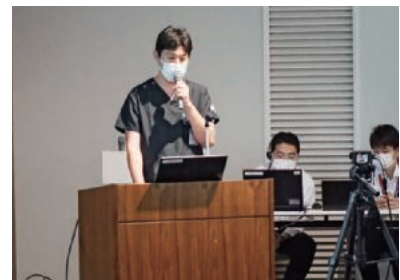
- 1) 平日時間内であれば、患者支援センターにある入院支援窓口にお越しください。休日・時間外であれば、総合案内または時間外受付にお越しください。
- 2) 窓口にて上記の開放病床登録医登録証の提示をお願いします。
- 3) 病室に入られる際には、ご持参頂いた登録証を面会カードに入れていただきます。
※スムーズにご案内するためにも事前に当院への来院が予定されている場合には、地域連携室に連絡をお願いします。患者さんへの面会は、当院の面会手順にそって対応しますので、ご面会できない場合もありますのでご了承をお願いします。



医療機関名の記載をお願いします。

地域連携セミナー開催の御礼

2023年8月24日(木)18:00～hybrid開催で第一回 地域連携セミナーを行いました。現地参加とweb参加の計157名の医療・介護施設関係者にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。講演テーマは「呼吸器センターの紹介」、「当院外科におけるロボット手術 (Da Vinci) について」、「2市2町 心不全地域連携ネットワークの取り組み」の3題を提供させていただきました。



またセミナー終了後には、当院1階にありますタリーズコーヒーを貸切にして懇談会も開催されました。

久しぶりに直接コミュニケーションをとっていただける場となり大変盛り上がりました。

今後も地域医療に貢献できるように様々な取り組みを行って参ります。

